

科目名	電気電子工学実験Ⅲ Experiments in Electric Engineering Ⅲ	科目コード	21050
-----	---	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	田口 裕二郎, 樺澤 辰也（電気電子システム工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・2単位
開講時期・時間数	前期, 60時間【内訳：講義0, 演習0, 実験60, その他0】
教科書	実験テキストを配布する.
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

講義を主体とする理論の学習と実験による理論の実証とを有機的に結合させて学習の理解を深め一層の定着を図る。受講に際しては、事前に各テーマの目的を理解し、実験を通して正しい観察力や直感力を身につけてもらう。実験終了後は、直ちに測定データのグラフ化を行い、グラフから読み取れる実験結果に自分なりの検討・考察をまとめる必要がある。

○関連する科目：電気電子システム工学実験Ⅱ（前年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①回路や電子素子の電圧や電流など電気諸量を、測定器で測定する方法を習得する。	30%	(c1)(c2)(d1)(d2)(d3)(d4) (e1)(e2)(g1)(g2)
②電気・電子回路の諸定理・現象を、実験を通して理解する。	30%	(c1)(c2)(d1)(d2)(d3)(d4) (e1)(e2)(g1)(g2)
③実験から得られたデータについて工学的に考察し、報告書やプレゼンテーション等によって説明できる。	40%	(b2)(c1)(c2)(d1)(d2)(d3) (d4)(e1)(e2)(g1)(g2)

【C. 履修上の注意】

各テーマには、基礎的なことから高度な内容のものまでが含まれている。実験内容で良くわからないことがあれば、どんどん質問することである。この授業が技術者としての基礎的能力や自主性の向上に役立つことを願っている。

【D. 評価方法】

各テーマ終了後提出する実験レポートの提出期限の遵守、結果のまとめと考察、課題に対する解答内容により評価する(100%)。最終成績はテーマごとの評価を平均し、科内会議で決定する。なお実験実習であることから全てのテーマに対して出席は必須とし、遅刻・無断欠席した場合には、レポートの評価点を大幅に減点することとする。60点以上を合格とする。

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	誘導電動機の世界速度制御	3週間で1テーマの班別実験
2	誘導電動機の世界速度制御	
3	誘導電動機の世界速度制御	
4	光通信の実験	
5	光通信の実験	
6	光通信の実験御	
7	電力系統に関する実験	
8	電力系統に関する実験	
9	電力系統に関する実験	
10	分布定数線路と超高周波デバイスの特性評価	
11	分布定数線路と超高周波デバイスの特性評価	
12	分布定数線路と超高周波デバイスの特性評価	
13	P N接合の温度特性	
14	P N接合の温度特性	
15	P N接合の温度特性	